

おおつぼ とよじゅ

お名前 **大坪 豊寿**

【会員登録 2010年】



## ご所属

田中整形外科病院（非常勤）

高知県スポーツ科学センターでの食事調査結果のフィードバックを選手全員で共有している写真です。各競技団体には同じ管理栄養士が担当するようにしています。令和4年度は4月・6月・9月と継続的に指導をしていて、少しずつ改善され、選手の質問も、より具体的になっています。

## スポーツ栄養士の活躍できる場所づくり

村上亜弥子さんから紹介を受けました大坪豊寿と申します。村上さんとは愛媛県で開催された第4回大会でお世話になったことで知り合いになりました。村上さんは高知県スポーツ栄養士研究会の勉強会でも講師をしていただくなど、頼りになる仲間です。

### ◆スポーツ栄養との出会い

私が初めてスポーツ栄養に出会ったのは、約30年前、当時全日本サッカー代表のチームドクターが当院に勤務されており、スポーツ選手は栄養が大切と話され1冊の本をいただいたのがきっかけです。それから、ドクターからの勧めで高校生の食事指導、講演、J1サッカーチームのホテルメニューのチェックや、合宿での新人選手への教育など、自分で出来る範囲のことをしてきました。しかし、本だけの勉強では無理もあり、知識や現場のサポートを習得するため県外のスポーツ栄養セミナーに参加をしました。特に印象に残っているのが、私は社会人でしたが、参加している学生さんが積極的でとにかく明るく楽しく、それまでの医療分野のセミナーとはまったく違った経験をしたことです。

### ◆高知県スポーツ栄養士研究会の発足

平成14年、高知国体が開催されることが決定し、高知県では各競技団体に栄養士を配置する目的で、高知県が独自にスポーツ栄養士の養成を始めました。国体後もスポーツ選手への継続的な指導が出来るように「高知県スポーツ栄養士研究会」を発足し現在に至っています。

#### ◆スポーツ栄養士としての活動

高知県には高知ファイティングドッグスと言う球団があります。この球団が独立行政法人国際協力機構(JICA)と提携しており、私は中南米の野球指導者にリモートでスポーツ栄養学の基礎編と応用編の講義させていただきました。中南米の日系社会では、栄養学さらにはスポーツに関する専門的な栄養学の知識を持たれている方はいないに等しく、現地では試合前後の食事に非常に関心がある事を知りました。球団では高知県スポーツ課の事業として「高知タレント発掘事業」の受託もされていて、栄養担当である私がこの講義のご縁をいただきました。

今回はオンラインでの画面越しの講義となりましたが、いつか日本もしくは中南米の現地にて対面で指導する計画です。このような経験はスポーツ栄養士として活動していたからこそその抜擢だと思っています。

#### ◆今後の目標

平成31年4月に高知県スポーツ科学センターが設立し、高知県スポーツ栄養士研究会の会員はセンターのサポートメンバーに登録し、選手や指導者に指導をしています。私は8月で一旦病院を退職しましたが、仕事をしながらのサポートは系統だった指導などに限界もあり、思うように指導ができないジレンマがありました。

今後は高知県スポーツ科学センターなどの施設に公認スポーツ栄養士が常勤で勤務できることを目標に会員と共に頑張りたいと思います。

次にバトンを渡す方は、田端綾美さんです。彼女との出会いは、日本スポーツ栄養学会の会場で「スポーツ栄養士になりたいです」と私に声をかけてくれた事です。とても元気で笑顔の素敵な学生さんという印象でした。現在は、自身の夢をかなえ鹿児島県で活躍されています。